

1 趣旨

口永良部島生物圏保存地域管理運営計画策定業務委託に係るプロポーザル選考会の実施にあたり、選考の具体的な取扱いを定める。

2 選考会

(1) 選考委員

選考委員は、副町長、総務課長、企画調整課長、環境政策課長とする。

(2) 選考方法

①書類選考（応募者多数の場合）

参加者から提出のあった書類の内容について、選考員協議を行い5者程度に選出する。

②プロポーザル選考会の実施

参加者が実施する企画提案の内容を選考員が評価する。選考結果もとに意見交換し、最も優れた提案を行なった者を契約候補者として選定する。

なお、参加者が一名のみの場合は、プロポーザル選考会は実施せず、書類選考により契約候補者としての適否を判断する。

③採点・選定

選考委員は、参加者からの企画提案を受け、質疑を行う。その内容を次に掲げる選考基準により採点し、平均点（委員全員の合計点を平均したもの）のもっとも高い者を契約候補者として選定する。ただし、採点の結果、平均点のもっとも高い者が複数名存在した場合は、くじ引きにより契約候補者を選定する。

【選考基準】

| 評価項目 | | 評価の視点 | 配点 |
|-----------|--------------|---|-----|
| 実施体制及び業績 | 団体の規模 | 従業員総数 | 4 |
| | 団体の実績 | 同様の計画の策定実績 | 4 |
| | 本業務に従事する者の実績 | 管理技術者の実績 | 6 |
| | | その他補助員等の実績 | 4 |
| | 実施体制 | 配置予定技術者の人数 | 6 |
| | | 連絡体制 | 4 |
| 小計① | | | 28 |
| 企画提案 | 業務内容の理解度 | 目的・条件・内容の理解度 | 8 |
| | 業務遂行手法 | 着眼点、問題点、解決方法等が確認でき、地域住民の理解を考慮した手法が取られているか | 8 |
| | 実現性 | 合理的で実現性があるか | 8 |
| | 計画性 | 業務工程に無理がないか | 8 |
| | 独自性 | 仕様書を補完、又は改善する意見が提案されているか | 10 |
| | 見積価格 | 契約限度額との比較 | 10 |
| | 積算見積書 | 業務内容、人員が明記されているか | 8 |
| 小計② | | | 60 |
| 質疑応答 | 提案者の印象 | 事業に対する取り組み意欲が見られるか | 6 |
| | コミュニケーション | 質疑に対する応答が的確で迅速 | 6 |
| 小計③ | | | 12 |
| 合計（①+②+③） | | | 100 |

